

進路ニュース

平成27年2月17日

鳥取県立白兔養護学校

進路担当

平成26年度 第8号

卒業までの日数をカウントダウンカレンダーで表示している学級もありますが、卒業や進級に向けて、まとめの時期に入りました。今回の進路ニュースでは、中学部・高等部の作業学習と移行支援会議についてお伝えします。

中学部作業学習

～製品は 心をこめて ていねいに！！～

中学部では、働くために必要な基本的な習慣や態度を育てることを目標に、四つの作業班に分かれて学習しています。生徒たちが直接販売に携わることはありませんが、白兔まつりや児童福祉展に向けて、良いものを買ってもらおうと意識して製品作りを進めています。年度当初に比べると、各作業班とも生徒たちの技術面は大きく向上しました。先日は、学校公開日にあたり、各作業班の製品の展示を行い、参観された方々に見ていただきました。

<手芸班>



針やミシン、織り機を使って、雑巾や巾着、トートバッグ、マット、ティッシュケースなど生活に必要な物を作っています。

<木工班>



糸のこ、棒ヤスリ、ベルトサンダー、ドリルなどの道具やサンドペーパーを使って安全に注意しながらメモスタンドやペン立て、ペンケースなどを作っています。

<農業・園芸班>



夏の暑い日も風吹く寒い日もせっせと畑を耕し、さつまいもや大根など多くの野菜を栽培しました。サシェやガーデンピックも作りました。

<ワークセンターはくと>



ペットボトル洗いをはじめ、壁のペンキ塗りなど依頼された仕事を丁寧に行いました。メモ帳や紙袋なども作りました。

(文責 依藤 美由紀)

高等部作業学習

高等部では、働くことの意義を深め、職業生活に必要な態度や能力を高めるとともに、より自立的に社会参加しようとする態度を育てることを目標に作業学習に取り組んでいます。本年度は基礎作業班A、基礎作業班B、リサイクル民芸班、織物班、木工班、農業班、窯業班、情報印刷班、クリーニング班、清掃班の10作業班で行いました。あいさつ、報告、連絡などの働くうえで大切な態度や作業技能も向上してきています。



作業学習での活動の様子

製品は白兔まつりや児童福祉展で販売し、白兔まつりでは多くの製品をお客様に買っただき、生徒は喜んでいました。また、今年度は学校公開日に合わせ1月29日に作業製品バザーを行い、保護者や小学部の児童などたくさんのお客様に来ていただきました。生徒は自分たちが作った製品を直接自分たちで販売することで、接客という貴重な体験をし、製品作りにも自信を深めていました。



白兔まつりでのバザーの様子



学校公開日での作業製品バザーの様子

(文責 高濱 正寛)

移行支援会議を実施しています！！

高等部3年生は2月中旬からそれぞれ移行支援会議を実施しています。

移行支援会議とは「学生→社会人」「子ども→大人」の大きな移行をスムーズに行うために、高等部での成果や課題等引き継ぎたい内容の確認をし、関係機関がこれからの支援の内容を分担・確認する会議です。一般就労では、進路先、ハローワーク、障害者就業・生活支援センター、職業センター（進路先と本人の同意の上）が参加し、労働条件の調整や確認、ジョブコーチ支援、生活全般の支援等を協議します。福祉的就労では進路先と相談支援事業所が参加し、サービス利用の調整や確認、目標の確認とそれに伴う支援内容の確認など協議しています。

それぞれの関係機関が一人一人のニーズに合わせ、卒業後も協力して支援にあたってくださいすることに本当に感謝しています。今後、さらに連携を深めることで、継続した就労につながることを願っています。

(進路指導主事 山根孝子)